

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2002-505603 (P2002-505603A)
【公表日】平成 14 年 2 月 19 日 (2002.2.19)
【出願番号】特願 平 11-504478
【国際特許分類第 7 版】
A 6 1 C 17/00
【 F I 】
A 6 1 C 17/00 E

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 6 月 13 日 (2005.6.13)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

17.6.13
平成 年 月 日

特許庁長官 小 川 洋 殿



1. 事件の表示 平成 1 1 年特許願第 5 0 4 4 7 8 号

2. 補正をする者

事件との関係 出 願 人

名 称 プリンストン トレード アンド
テクノロジー インコーポレイテッド

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内 3 丁目 3 番 1 号
電話 (代) 3211-8741

氏 名 (5995) 弁理士 中 村 稔



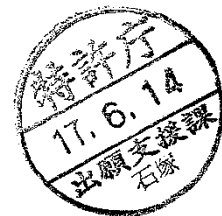
4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 1 6

6. 補正対象書類名 明細書

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容 別紙記載の通り



請求の範囲

1. 歯科用途および医療用途のチューブ系壁からバイオフィームおよびデブリを除去する、加圧下でガス連続流と混合された1以上の界面活性剤の水溶液を含む洗浄用混合物であって、ガス中で前記溶液の混合相が形成される、前記洗浄用混合物。
2. 界面活性剤の水溶液がさらに1以上の酸化剤を含む、請求項1に記載の混合物。
3. 更に固体粒子を含む、請求項1に記載の洗浄用混合物。
4. 固体粒子が水溶性である、請求項3に記載の洗浄用混合物。
5. 固体粒子が水不溶性である、請求項3に記載の洗浄用混合物。
6. 更に殺生物剤を含む、請求項1に記載の洗浄用混合物。
7. チューブ系の内部表面からバイオフィームを除去する方法であって、1以上の界面活性剤の水溶液およびガスの混合相混合物の連続流を加圧下で前記チューブ系を通過させることを含み、それによって前記表面からバイオフィームおよびデブリを前記表面からこすり落とす作用を生じさせる、前記方法。
8. 加圧下で、チューブ系に水およびガスの最終リンスを通過させる、請求項7に記載の方法。
9. 界面活性剤の水溶液がさらに1以上の酸化剤を含む、請求項7に記載の方法。
10. 界面活性剤の水溶液が更に殺生物剤を含む、請求項7に記載の方法。
11. 界面活性剤の水溶液が更に粒子を含む、請求項7に記載の方法。
12. 粒子が水溶性である、請求項7に記載の方法。
13. ガスがパルス化されている、請求項7に記載の方法。
14. 混合物が加熱されている、請求項7に記載の方法。
15. 内視鏡チューブ系の内部表面を洗浄する方法であって、
 - (a) 1以上の界面活性剤の水溶液を作成すること；
 - (b) 前記溶液を加圧ガスと混合し、混合相洗浄用混合物を形成させること；および、
 - (c) 前記混合物を内視鏡チューブ系の内部表面へ通すこと、ことを含む前記方法。

16. 界面活性剤が非イオン性界面活性剤、陽イオン界面活性剤および陰イオン界面活性剤からなる群より選ばれる、請求項 15 記載の方法。
17. 界面活性剤の水溶液がさらに 1 以上の酸化剤を含む、請求項 15 記載の方法。
18. 界面活性剤の水溶液がさらに 1 以上の殺生物剤を含む、請求項 15 記載の方法。
19. 界面活性剤の水溶液がさらに固体粒子を含む。請求項 15 記載の方法。
20. 粒子が水不溶性である、請求項 19 記載の方法。
21. 粒子が水溶性である、請求項 19 記載の方法。
22. 酸化剤が粒子形態である、請求項 17 記載の方法。
23. 混合物が加熱されている、請求項 15 記載の方法。
24. 工程 (a) に先だってチューブ系の内部表面が水に浸漬される、請求項 15 記載の方法。
25. 内視鏡チューブ系の外部表面を洗浄する方法であって、
 - (a) 内視鏡チューブ系をアダプターでスリーブ中に封じ込めて前記チューブ系と前記スリーブ間に耐圧シールを提供すること、
 - (b) 1 以上の界面活性剤を含む洗浄溶液を作成すること、
 - (c) 前記洗浄溶液を加圧下でガスと混合し、前記ガス中で前記溶液の混合相混合物を形成させること、および、
 - (d) 加圧された前記混合物を前記チューブ系の外部表面と前記スリーブの間を通過させること、を含む前記方法。
26. 医療装置または食品処理装置の表面からバイオフィームおよびデブリを除去する方法であって、1 以上の界面活性剤とガスの混合相混合物の連続流を前記表面へ向けることを含み、それによって前記混合相の前記表面に対するこすり落とし作用を生じさせる、前記方法。
27. 前記表面がチューブ系を含む、請求項 26 記載の方法。
28. チューブ系がカテーテルである、請求項 26 記載の方法。
29. 表面が、滅菌充填ポートである、請求項 26 記載の方法。
30. ガスが少なくとも 172kPa(25psi)の圧力で供給される、請求項 26 記載の方法。
31. 圧縮ガスの供給源、1 以上の界面活性剤を含む水溶液の供給源、前記ガスお

よび水溶液を混合して混合相洗浄用混合物の連続流を形成させる装置、および、前記混合相洗浄用混合物が通過するチューブ系を含み、前記洗浄用混合物が前記チューブ系を通過すると前記チューブ系の壁に付着したバイオフィームおよびデブリが遊離および除去される、歯科用ユニット。

32. さらに水溶液を加熱するための加熱器を含む、請求項 31 記載の歯科用ユニット。

33. 水溶液がさらに 1 以上の酸化剤を含む、請求項 31 記載の歯科用ユニット。